

女性の皆さんが普段思っていること、考えていることって何!?

女性の声を町政に生かそう

町に在住する女性の声を町政に反映することを目的にした「長島町女性の声を聴く101の会」が9月1日から4日の3日間で開催されました。

町内にある女性団体（長島町商工会女性部、坂口のみ部長、食生活改善推進協議会、上清子会長）と獅子島地区の女性代表者らが「ごみの減量化について」というテーマに沿って協議したほか、自由意見では女性ならではの意見が多く出されました。

会には、川添健町長をはじめ石塚政廣副町長、村田研史教育長のほか町職員が出席し、3会場合わせて47人の女性と協議を行い、新たな生ごみ処理器『キエーロ』を紹介すると、多くの女性から「モニターになって試してみたい」と手が挙がりました。

3日間の協議内容は次のとおりです。協議テーマに沿った意見は3会場でとりまとめたものを、自由意見については主なものを、それぞれの会場ごとに掲載します。

「みんなが抱える大きな不満」 テーマ「ごみの減量化」

◇生ごみ処理機、EM菌とどれも時間と手間がかかり断念した。簡単にできる方法はないか。

「回答」キエーロの商標登録者に製作の了解を得た。現在キエーロの製作中で、今後モニターを募り実施したい。

◇ごみの減量化を推進するのであれば、若い世代を対象とした研修会を開催したらどうか。

「回答」4～5人のグループなどで希望者がいれば出前講座などで事業を推進したい。

◇ごみの減量化に取り組み、ダンボールコンポストとキエーロをモニターングしてみたい。

「回答」ダンボールコンポストについては、材料を無料で配布します。キエーロについては、平成26年度に試験的に取り組み、モニターングを行いその後本格的な取組みを考えたい。

◇他の自治体では、ごみの減量化についてどのような取り組みをしているのか。女性の視点でごみの減量化を学んでみたい。

「回答」ごみの分別、生ごみの

自家処理などの先進地研修を考えています。

◇キエーロを畑に設置した場合、イノシシやカラスなどの被害、生ごみの臭いはないのか。

「回答」20センチ以上掘ってから埋め戻し、透明のポリカ波板を取り付けるので、臭気や有害鳥獣の被害はありません。

◇生ごみの80%は水分と聞くと、今回紹介された『水切りダイエット』は各自で購入しなければならないのか。

「回答」公民館長を通じて各戸に無料配布しました。水切りダイエットを使って水分を切ることで、ごみの減量化につながるので各家庭で活用ください。



↑さまざまな議論が展開された商工会女性部員による会議



↑各戸に配布された水切りダイエット（使用方法は梱包された箱に記載）

「高齢者やママに支援を」 商工会女性部

◇認定介護を受けていない高齢者で、他の市町村に通院する場合の助成はできないか。

「回答」全員に通院助成をすることは困難ですが、交通費などの問題で必要な治療が受けられない人は地域包括支援センターや福祉事務所に相談ください。

◇子育て支援パスポートは、他の市町村の飲食店や企業、施設で利用できるが、この制度を知らない人が多い。町民にもっと広報活動してほしい。

「回答」関係機関と協議のうえ町民全体への周知に努め、広報誌やホームページなどを活用し情報共有を図り、対象者へは妊

娠届出時の説明を強化します。

→土の中のバクテリアによって生ごみが分解される『キエーロ』。畑などに据え置くタイプ（写真）とベランダタイプがある



◇町立図書館のサービスを充実してほしい。開館時間の延長やいろんな本を購入し貸し出しできないか。また日曜日に開館することができないか。

「回答」開館時間の延長や日曜開館は検討しなければならないと考えている。図書の購入は希望があれば考慮していきたい。

◇町内に遊具施設はあるが、集落内にすべり台、ブランコなどの遊具施設を設置する考えはないか。

「回答」集落活性化のための補助金を平成28年度から各集落に交付する予定です。地域の中で協議し、実情に合うものを設置していただきたい。